

MOVEit Transfer マルチテナンシー・オプション

マルチテナンシーのメリット

- IT 部門に必要なガバナンスを確保
- ユーザーが容易に受け入れ
- 信頼のおけるマネージド・ファイル・トランスファー・ソリューション

MOVEit Transfer のドメインベースおよびユーザー名ベースのマルチテナンシーを使用して、複数のクライアント組織、つまり「テナント」に同時にサービスを提供します。

マルチテナンシーとは、単一のシステムが複数のクライアント組織、つまり「テナント」に同時にサービスを提供できる能力のことです。マルチテナント・アプリケーションは、各クライアント組織のデータと構成を分割して、各クライアント組織がインタラクションなしで同じシステム上で並行して実行できるように設計されています。マルチテナント・アプリケーションでは通常、「ドメイン」、「インスタンス」、「ホスト」、「組織」など、テナントの種類に対してより具体的な名称を使用します。

よく利用されるマルチテナント・アプリケーションの例としては、Microsoft® IIS Webサーバーや、Microsoft SQL サーバーがあります。前者は複数の「ドメイン」（例：「www.domain1.com」と「www.domain2.com」）にサービス提供し、後者は複数の「インスタンス」（例：「domain1_ecommerce」と「domain2_product_catalog」）にサービスを提供します。

ファイル転送サーバーにおけるマルチテナンシーはどう機能するか？

マルチテナンシーを提供するファイル転送サーバーを使用すると、ファイル転送アプリケーションによってホストされる組織ごとにFTP/S、SFTP、および/またはHTTP/Sサービスを設定できます。各ユーザーがインタラクトする組織は、通常、ユーザーが接続しているドメイン名（例えば、「ftps.domain1.com」または「ftps.domain2.com」）によって決まります。これを「ドメインベースのマルチテナンシー」と呼びます。

一方、各ユーザーがインタラクトする組織が、ユーザー名やユーザーが提供する他の認証資格情報によって決まることもあります（例えば、全員が「ftps.company.com」に接続するものの、「fred」は「domain1」組織に所属し、「betty」は「domain2」組織に所属するような場合）。これは「ユーザー名ベースのマルチテナンシー」と呼ばれます。

MOVEit Transfer はマルチテナンシーをどうサポートするか？

MOVEit Transfer は、ドメインベースとユーザー名ベースの両マルチテナンシーをサポートします。

ドメインベースのマルチテナンシーをサポートするために、MOVEit Transfer は、システム管理者が独自のサーバー証明書で追加のリスニングポートを設定できるようにし、MOVEit Transfer システムで同じユーザー名の複数の再利用を許可するスイッチを提供します。

ドメインベースのマルチテナンシーモードでは、MOVEit Transfer のユーザー名は特定の組織内でのみ一意です。つまり、「fred」という名前のユーザーは、同じ MOVEit Transfer システム上の「domain1」と「domain2」の両方の組織に存在できます。ただし、「domain1」の「fred」が「ftps.domain2.com」のインタフェースにサインオンすることはできません。

ユーザー名ベースのマルチテナンシーをサポートするために、MOVEit Transfer は、システム管理者がすべての組織に対して単一のFTP/S、SFTP、およびHTTP/S インタフェースを再利用できるようにし、MOVEit Transfer システム全体で個々のユーザー名が一意になるようにするスイッチを提供します。

ユーザー名ベースのマルチテナンシーモードでは、MOVEit Transfer の単一のユーザー名は単一の組織のみ関連付けることができます。つまり、「fred」という名前のユーザーは「domain1」組織には存在できますが、「domain2」組織には存在できません。ただし、「domain1」の「fred」は、「ftps.domain2.com」のインタフェースへのサインオンを許可されます。

どちらのマルチテナンシーモードでも、「追加の組織」を許可する MOVEit Transfer ライセンスが必要です。

「追加の組織」はどのようにライセンスされるか？

すべての MOVEit Transfer ライセンスには、個々のシステムに対して最大数の実稼働組織が含まれます。組み込みのエンドユーザー向けではない「システム組織」は、この最大値には含まれません。

また、MOVEit Transfer Web Farm または Resiliency の展開で使用されるライセンスされた「ノード」の数は、実稼働組織の最大数とは関係ありません。たとえば、5組織、単一ノードの MOVEit Transfer Web Farm や、1組織、2ノードの MOVEit Transfer Web Farmを使用することが可能です。

ほとんどの MOVEit Transfer システムは1つだけの実稼働組織を含むものですが、複数の実稼働組織が存在することはよくあります。追加の組織を個別にライセンスすることも、複数の新しい組織の容量を一度に追加するバンドルでライセンスすることも可能です。

なぜ「追加の組織」が必要なのか？（なぜグループを使用しないのか？）

「追加の組織」が必要になるのは、分離された事業部や部門をサポートするためです。単一の組織内でグループを使用することで、重複した利点も得られますが、組織とグループにはいくつかの大きな違いがあります。

以下に、グループを使用するのが適切な場合と、「追加の組織」を使用するのが適切な場合を示します。

次のような場合は、グループを使用します。

- ▶ フォルダのアクセス許可とアドレス帳を使用して、人とシステムの間のやり取りを定義する
- ▶ 組織のサブセットに対する管理コントロールをユーザーのサブセットに委任する
- ▶ 互いにインタラクトする必要がある関連ユーザーを集める

次のようなことが必要な場合は、「追加の組織」へのライセンスを取得してください。

- ▶ マルチテナンシーをサポートする
- ▶ 完全な管理コントロールを組織全体に委任する
- ▶ 多くのインタラクションを管理可能なドメインにカプセル化する
- ▶ 無関係なユーザーベースを分離するか、既存のユーザーに新しい無関係の役割を提供する

複数の LDAP 認証ソースへのアクセスやカスタムブランディング/テンプレートなどのいくつかの機能は、組織とグループの両方に利用可能です。

無料試用版をお試ください: jp.ipswitch.com/forms/free-trials/moveit-transfer